

## 第 51 回 物療校友会学術部放射線部会勉強会 報告書

日時：令和元年 7 月 6 日(土) 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：大阪市立難波市民学習センター 第 1 研修室

報告者：永寿会 福島病院 木下 淳一

### プログラム

1. 『CT 検査の被ばく線量管理と最適化』

京都大学医学部附属病院 福島 康宏 先生

2. 『当院における放射線管理の実際』

大阪警察病院 天河 卓也 先生

### 【報告事項】

この度、第 51 回物療校友会学術部放射線部会勉強会を開催致しましたので、物療校友会学術部勉強会幹事の木下淳一がご報告させていただきます。

2020 年に医療放射線の管理に関する法律が改正されることもあり、今回は被ばくをテーマに勉強会が行われました。

プログラム 1 では京都大学医学部附属病院の福島先生に『CT 検査の被ばく線量管理と最適化』というタイトルでご講演いただきました。群馬大学医学部附属病院と京都大学医学部附属病院の線量管理の仕方を比較しながらその特徴を話していただきました。線量管理を行ったうえで、院内で検討を行い、CT のプロトコルを最適化していき、CT 検査の被ばく線量を低減できる事を線量管理ソフトのデータをもとに提示していただきました。今後は多くの医療施設に線量管理のためのツールが導入されていくことでしょう。今後、自施設で線量管理を行い、撮影条件を見直すうえで参考にさせていただきたいと感じた講演でした。

プログラム 2 では大阪警察病院の天河先生より『当院における線量管理の実際』というタイトルでご講演いただきました。2020 年の医療放射線の適正管理についての法改正を念頭に医療被ばくの基礎から、実際に大阪警察病院で行われている放射線に関する管理を紹介していただきました。マニュアルの作成や職員の教育、医師への啓蒙活動など参考にできる点も多いと感じた講演でした。

勉強会終了後の親睦会では、活発な意見交換が行われました。次回の勉強会は 1 泊研修会を予定(11月)しております。詳細は決まり次第、物療校友会ホームページに掲載致しますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。今後もたくさんのご参加をお待ちしております。



京都大学医学部附属病院 福島 康宏 先生



大阪警察病院 天河 卓也 先生

作成日：令和元年7月12日